資料１

島田市文化芸術推進計画づくりのイメージ

●現状の整理

市の上位・関連計画
- 第２次島田市総合計画（H30～33）
- 島田市都市計画マスタープラン（H30 見直し中）
- 島田市役所周辺整備基本構想（H30 策定）
- 島田市街地中心活性化計画(H30 見直し中)
- 島田宿大井川川越遺跡保存管理計画（H26 策定）等

関係法令
- 文化芸術基本法（H29 制定）
- 劇場・音楽堂等の活性化に関する法律（H24 制定）
- 静岡県文化振興基本条例（H18）

国・県の計画
- 文化芸術推進計画（H30～34）
- 第４期ふじのくに文化振興基本計画（H30～33）

●強み・課題の抽出

- 市民・事業所意識調査
- 文化団体等ヒアリング
- 文化芸術推進協議会・策定ワーキング　等による抽出

島田らしさ
- 地域資源（自然、歴史、イベント等）
- 人材（芸術家、コーディネーター等）
- 観光・福祉・まちづくり・産業・スポーツ・子育て・教育・ICT　等

◆計画の骨子案◆

【方向性】

計画の基本理念

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

目標　●●●●●　　**目標　●●●●●**　　**目標　●●●●●**

【計画内容の例】

情報発信
- シティプロモーション
- 他分野との統合的な発信
- 他のイベントとコラボ
- 情報弱者への対応　等

▲▲▲
- ○○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○○○○○○
- ○○○○○○○

▲▲▲
- ○○○○○○
- ○○○○○○○
- ○○○○○

人材育成
- 学校との連携
- 島田への愛着、誇りの形成
- 仕組みづくり　等

▲▲▲
- ○○○○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○○○○○○

▲▲▲
- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○○○○○○

●文化・芸術をとりまく背景

【社会の動向】

○人口減少・少子高齢化の進行（世帯構成の変化、地域コミュニティーの衰退等）

○価値観の多様化（生活・行動様式等の多様化、「経済的価値」から、「心の豊かさ」を重視）

○環境問題の進行
（地球温暖化を原因とする災害被害（猛暑や集中豪雨）から、環境意識の高まり）

○教育や子育て環境の変化（子供同士が触れ合う機会の減少による自主性や社会性の低下）

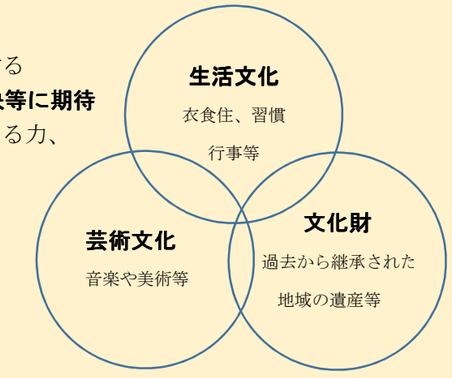
○住民参画・協働意識の高まり（行政と市民、行政と企業等の協働による取り組みの推進）

○高度情報化・グローバル化の進展
（高度な情報の発信と受信、情報弱者・情報格差の発生、人間関係の希薄化）

○2020 年東京オリンピック・パラリンピックや 2025 年大阪万博の開催
（日本固有の文化の価値の向上、再認識、人間中心社会の成熟期にふさわしい文化・芸術のあり方の模索、世界への日本の魅力の発信、地域の活性化）

【文化・芸術の捉え方の変化】

○生活文化を文化芸術の範囲とする
全ての人が文化・芸術を享受、創造することにより基本的人権を保障する

○文化・芸術そのものが持つ力に加え、関連分野との連携による課題解決等に期待
- 文化・芸術そのものが持つ力　→豊かな心、人々の心の繋がり、生きる力、主体性、自己表現力、多様性を受け入れる心の育英
- 連携すべき関連分野　→教育、福祉、産業・観光、まちづくり等

○企業との協働
社会的貢献の一分野とし、資金提供以外にも社業と関連強い取り組みや独自の自主企画等の実施